

総合事務所の産業建設グループ集約

大雪時の検証はしないでもいいのか

橋爪団長が総括質疑

3月3日から始まった上越市議会3月定例会には、市長から来年度予算を中心とした数多くの議案、条例などが上程されています。

2日目には、橋爪議員団長が総括質疑に立ち、総合事務所の産業建設グループの集約について、「災害への対応、特に豪雪への対応は、住民にとって最も切実だ。今年は少雪だが、大雪が降ったときの検証はしなくてはいいのか」とたどりました。

市長は、「除雪は、合併以来



最重要課題として位置づけ、何年もかけて万全の体制をとって取り組んできた。集約で滞ることのないよう、確実に検証を重ねてきた」という趣旨で答弁し、来年度からの集約の本実施への意欲を強調しました。
しかし、橋爪議員が重ねて指摘したように、除雪の初動に遅れが出た事例があったことも事実であり、豪雪時にどうなるかもしっかりと検証し、見極めるべきではないでしょうか。
新水族館建設問題では、指定管理者をあらかじめ決め、設計段階から関わりを持たせるという方針です。そのため、行政側は条例ではなく、協定書で対応するとしています。橋爪議員は、その点に関して、法的に問題はないのかを問いましたが、当局は、「事業者を募集する際の仕様書などに記載するほか、アドバイザリー契約を結ぶなどの手立てをとることにしており、問題はないと認識している」と答弁しました。

7000筆の署名携え 柏崎刈羽原発の再稼働反対と廃炉を要請

日本共産党、社民党、新社会党のほか、多くの市民団体に構成する、「つながろうフクシマ! さようなら原発 上越地域連絡会」は2月26日、県庁で泉田知事に対し、柏崎刈羽原発の再稼働を認めず廃炉への決断の立場に立つことを求める申し入れを行いました。



申し入れにあたって、1か月あまりの短期間で集まった7000筆以上の署名を添えました。

申し入れには、日本共産党から竹島県議と上野市議が参加しました。応対したのは県防災局長です。上野市議は、県知事がこれまで繰り返し述べてきた「福島第一原発の事故検証が終わらないうちは再稼働の議論には入らない」との見解を評価しつつ、「大事なことは、同時に廃炉の決断をすることではないか」と訴えました。



フキ味噌が美味しい時季になりました。お宅では、もうお食べになりましたか。

おかげさまで400号

当議員団ニュースは、2005年2月27日の創刊以来、今号で400号を迎えることができました。これまでのご支援に深く感謝いたしますとともに、これからのよりいっそうのご愛読をお願い申し上げます。

地元からは、日本共産党を代表して、橋爪市議団長が連帯の挨拶を行いました。午前には観たばかりという映画「標的の村」の感想を交え、「日米共同訓練は戦争の訓練であり、平和を崩すものだ」と強調し、「沖縄県民の不屈の闘いに学びたかおう」と訴えました。
集会後、駅前、本町通りをパレードしました。

日米共同訓練反対集会 長野・富山からも参加者



3月2日、上越市内で日米共同訓練反対集会が、「日米共同訓練反対地域の会」の主催で行われました。集会には、上越市、妙高市はじめ、新潟、長岡、糸魚川など県内各地のほか、長野県や富山県などから平和を愛する多くの人が参加しました。

集会では、訓練開始以来、2度に渡り関山演習場で監視行動を行っている長野県平和委員会の永井代表理事が、雪の中での訓練の様子を生々しく報告しました。また、訓練反対を県知事に申し入れた新潟県平和委員会の関根代表は、なぜ訓練に反対するのかを丁寧に語りました。

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 400 2014年3月9日

連絡先
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)